

2024 年度ゼミ（演習 1）要覧

担 当 者 名	岩村英之
演習テーマ	AI（人工知能）と社会
演習の内容	<p>これからの数十年間で、AI（人工知能）が私たちの社会に大きな変化をもたらすと言われています。すでに、これまで「人間にしかできない」と考えられてきたタスクー自動車の運転や異なる言語間の翻訳などーが、AI によって実用に耐えるレベルで実行できるようになってきています。数年前には、アメリカに存在する職業の 47 パーセントが数十年のうちに機械やコンピュータによって自動化されるリスクがある、という衝撃的な研究が話題になりました。本当に、半分の仕事が機械に取って代わられるのでしょうか。そうなったら、私たちは何をして生活の糧を得るのでしょうか。この演習では、AI が私たちの仕事や生活、社会全般に及ぼす影響について考えていきます。そして、わたしたちひとりひとりが AI 社会にどう備えることができるかも考えてみましょう。具体的な問いとしては、たとえば以下のようなものがあり得るでしょう。</p> <p>(1)AI に代替されやすい仕事、されにくい仕事はどんなものか。 (2)仕事や生活で AI をどのように活用できるか（味方につけられるか）。 (3)AI の普及によって社会の仕組み（政治、経済）はどう変わるか。 (4)AI の普及によって私たちは今ほど働かなくてよくなる（働けなくなる）のか。あるいは、ほとんど働かなくてよくなる（働けなくなる）のか。 (5)そうなったとき、私たちは何をして過ごすのか。そのような社会で何から充実感を得るのか。そもそも生活できるのか。</p> <p>なお、AI の技術的背景・仕組みについても文系レベルで勉強します。難しい数学は不要ですが、x と y くらいは出てきます。</p>
テキスト・参考書	<p>【参考書】</p> <p>[1] 松尾豊（2015）『人工知能は人間を超えるか』（角川 EPUB 選書）KADOKAWA [2] ミッチェル（2021）『教養としての AI 講義』日経 BP [3] サスキンド（2022）『WORLD WITHOUT WORK：AI 時代の新「大きな政府」論』みすず書房 [4] フレイ（2020）『テクノロジーの世界経済史』日経 BP [5] 森巧尚（2021）『Python3 年生 機械学習のしくみ』翔泳社</p>
成績評価の基準	発表（1～2 回）と期末レポートに 40 点ずつ配分します。残りの 20 点は、どれだけ独自に勉強したかを、他の発表者へのコメント等から評価します。自分で勉強をすすめることを高く評価します。
校 外 実 習	実施しない

校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	
選考方法	小論文の内容によって判断します。
小論文（テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	<p>【テーマ】</p> <p>(1) おそらく、皆さんは現時点ではAI について詳しくは知らないでしょう。そんな皆さんが、AI が社会にどのような影響を与えていると考えている（心配している、期待している）か説明してください。「エンターテインメントへの影響」などのように、特定のトピックに絞ってもよいです。もちろん、知識を補うために何かを参考にして書いてもよいですが、その場合には必ず参考にしたものを明記してください。</p> <p>(2) そのうえで、ゼミでAI についてどのような勉強をしたいか書いてください。</p> <p>(1) と (2) をあわせて 2000 字前後でまとめてください。</p> <p>【提出方法・期限】</p> <p>Word か PDF の形式で、下記メールアドレスにお送りください。 5 月 26 日（日）23 時までにご送ってください。</p>
メールアドレス	iwamura@k.meijigakuin.ac.jp
説明会・オフィスアワー	<p>5 月 14 日（火）17:00-17:45 8 号館 4 階 842 教室</p> <p>5 月 17 日（金）17:00-17:45 8 号館 4 階 842 教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記で都合がつかない人はメールでご連絡ください。 ・当ゼミを希望される場合は、必ず説明会に参加してください。
履修済・履修中であることが望ましい授業	
2025 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性	なし
備考	校外実習は実施しませんが、AI 活用の現場（たとえば自動運転の実証実験等）を見学することを考えています。